



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月6日  
東上場会社名 ミヨシ油脂株式会社  
コード番号 4404

上場取引所

URL <http://www.miyoshi-yushi.co.jp/>代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 三木 逸郎  
兼CBO

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 小河 尚典 (TEL) 03-3603-1149

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	41,373	7.6	1,471	—	1,619	—	1,259	—
2022年12月期第3四半期	38,454	11.4	△1,261	—	△1,079	—	△754	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 2,885百万円(—%) 2022年12月期第3四半期 △681百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	123.24	—
2022年12月期第3四半期	△73.93	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	58,816	27,161	46.1
2022年12月期	58,669	24,562	41.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 27,120百万円 2022年12月期 24,522百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	—	—	30.00	30.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,800	5.8	2,100	—	2,200	—	1,700	—	166.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	10,306,895株	2022年12月期	10,306,895株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	84,388株	2022年12月期	101,204株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	10,218,770株	2022年12月期3Q	10,205,691株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年1月1日~2023年9月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、経済活動が緩やかに持ち直しつつある一方で、不安定な国際情勢や世界的な資源・エネルギー価格の高騰、円安による物価の上昇等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当油脂加工業界におきましては、行動制限の緩和やインバウンド需要の回復等により明るい兆しが見られたものの、各種原材料、エネルギー、物流費等の様々なコストが上昇しており、非常に厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、市場ニーズに合わせた新製品の開発を推進するとともに、国内外での展示会への出展や、新事業・商品開発に役立つ情報を発信するWEBサイトを活用しながら効果的な販売促進活動を積極的に展開しました。また、原材料をはじめとした各種コストの上昇に対応するため生産体制の効率化と販売価格の改定を推し進め、収益の確保に努めました。

この結果、売上高は41,373百万円(前年同期比7.6%増)、営業利益は1,471百万円(前年同期は営業損失1,261百万円)、経常利益は1,619百万円(前年同期は経常損失1,079百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,259百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失754百万円)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

## ① 食品事業

食品事業につきましては、コロナ禍からの行動制限が緩和されたことで、外食産業および土産菓子業界等の需要の回復が鮮明となりました。一方、当社の主要販売先である製パン業界をはじめ、即席めん、カレー、製粉関連、スープ等の市場の需要は堅調に推移しましたが、各種コストの上昇や諸物価上昇による消費者の節約志向の高まり等の影響を受けました。

このような状況のなか、国際情勢の変化や為替等の影響により高騰する包材・副原料、ユーティリティ、その他各種コストに対応するため、原材料・資材の見直しや生産改善等の効率化を推し進めるとともに販売価格の改定を行いました。合わせて、既存のマーガリン、ショートニングや粉末油脂等の主力製品はもとより、プラントベース(植物由来)食品市場に向けた製品やラード不足に対応する代替製品、フードロス削減に繋がる製品等、市場ニーズを取り入れた製品の拡販に努めました。また、9月には、一般消費者向け製品「すぐに使える かける本バター」が利便性や汎用性などを評価され、ジャパン・フード・セレクションにおいてグランプリを受賞するなど新たな市場に向けた製品開発にも注力いたしました。

この結果、売上高は28,130百万円(前年同期比8.1%増)、営業利益は710百万円(前年同期は営業損失1,389百万円)となりました。

## ② 油化事業

工業用油脂製品につきましては、高付加価値グリセリンの拡販に注力し、化粧品用途が好調に推移しましたが、脂肪酸は、中国経済の停滞やタイヤ、塗料等の国内向け需要減少の影響を受けて低調に推移しました。

界面活性剤関連製品につきましては、コロナ禍からの日常生活の正常化に伴い、紙・パルプ分野の家庭紙用薬剤の需要が回復するとともに、化粧品分野の高付加価値シャンプー向け原料基剤「アンホレックス」やクレンジング製品向け原料基剤「Mファインオイル」が好調に推移しました。一方、環境関連分野の飛灰用重金属処理剤は、主要原料の需給ひっ迫の影響を受け低調に推移しました。

この結果、売上高は12,735百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益は726百万円(前年同期比979.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ147百万円増の58,816百万円となりました。主な増加は投資有価証券2,404百万円、無形固定資産307百万円であり、主な減少は商品及び製品672百万円、受取手形及び売掛金489百万円、現金及び預金440百万円、機械装置及び運搬具(純額)431百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,451百万円減の31,655百万円となりました。主な減少は支払手形及び買掛金3,485百万円、借入金540百万円であり、主な増加は固定負債のその他774百万円、未払法人税等311百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,599百万円増の27,161百万円となりました。主な増加はその他有価証券評価差額金1,671百万円、利益剰余金950百万円であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の41.8%から46.1%に増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2023年2月13日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2023年11月6日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,955	4,515
受取手形及び売掛金	14,693	14,203
電子記録債権	3,123	2,896
商品及び製品	3,678	3,005
仕掛品	1,022	932
原材料及び貯蔵品	3,888	4,020
その他	976	554
貸倒引当金	△159	△177
流動資産合計	32,179	29,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,916	3,665
機械装置及び運搬具（純額）	4,156	3,724
土地	6,380	6,380
その他（純額）	533	839
有形固定資産合計	14,986	14,611
無形固定資産		
その他	525	832
無形固定資産合計	525	832
投資その他の資産		
投資有価証券	7,438	9,842
退職給付に係る資産	2,904	2,977
その他	674	636
貸倒引当金	△38	△36
投資その他の資産合計	10,978	13,419
固定資産合計	26,490	28,863
資産合計	58,669	58,816

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,525	11,039
電子記録債務	846	824
短期借入金	6,425	6,425
1年内返済予定の長期借入金	720	2,505
未払法人税等	84	395
その他の引当金	3	5
その他	1,967	2,497
流動負債合計	24,570	23,692
固定負債		
長期借入金	5,185	2,860
退職給付に係る負債	2,469	2,480
役員退職慰労引当金	21	-
役員株式給付引当金	51	39
その他	1,808	2,582
固定負債合計	9,535	7,962
負債合計	34,106	31,655
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	7,180	8,130
自己株式	△147	△124
株主資本合計	21,540	22,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,455	4,126
退職給付に係る調整累計額	526	481
その他の包括利益累計額合計	2,982	4,607
非支配株主持分	40	40
純資産合計	24,562	27,161
負債純資産合計	58,669	58,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	38,454	41,373
売上原価	34,793	34,676
売上総利益	3,661	6,696
販売費及び一般管理費	4,922	5,225
営業利益又は営業損失(△)	△1,261	1,471
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	191	130
持分法による投資利益	33	37
その他	64	94
営業外収益合計	290	263
営業外費用		
支払利息	77	74
その他	30	39
営業外費用合計	108	114
経常利益又は経常損失(△)	△1,079	1,619
特別利益		
有形固定資産売却益	-	16
投資有価証券売却益	17	171
特別利益合計	17	188
特別損失		
有形固定資産除却損	16	48
投資有価証券評価損	23	-
特別損失合計	39	48
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,101	1,759
法人税、住民税及び事業税	28	369
法人税等調整額	△381	129
法人税等合計	△353	499
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△748	1,259
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△754	1,259



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△748	1,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67	1,671
退職給付に係る調整額	△1	△45
その他の包括利益合計	66	1,625
四半期包括利益	△681	2,885
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△687	2,885
非支配株主に係る四半期包括利益	6	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,022	12,145	38,168	286	38,454	—	38,454
セグメント間の内部売上高 又は振替高	173	91	265	107	373	△373	—
計	26,196	12,237	38,434	393	38,828	△373	38,454
セグメント利益又は損失(△)	△1,389	67	△1,322	61	△1,261	—	△1,261

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,130	12,735	40,866	506	41,373	—	41,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	158	105	264	107	371	△371	—
計	28,289	12,841	41,130	614	41,744	△371	41,373
セグメント利益	710	726	1,436	34	1,471	—	1,471

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。